

第8回辰野町入札等審査委員会次第（会議録）

平成23年 3月29日（火）
午後1時30分～
役場第7・8会議室

1. 開 会

（事務局）

第8回入札等審査委員会を開催する。

2. 委員長あいさつ

（委員長）

前から議論していた日頃の災害対応等、目に見えて実感される事件が起こりまして、そういうものも含めて地域の在り方、公共事業の一つ一つを積上げて実のある会議にしたい。

3. 協議事項

（1）第4四半期における入札

（事務局）

12月発注～2月発注工事分の落札率等を案件ごとに説明。

○一般競争入札 落札率平均 → 93.08%

○指名競争入札 // → 92.31%

○競争による見積（随意契約） 落札率平均 → 70.90%

（委員）

随契の落札率が低いことは何かあるのか？

（事務局）

物品購入で見ると、値引き率の違いが表れていると思われる。

(委員)

予算を立てるときの見込み違いもあると思われる。(備品の購入が主である随契の場合は特に。) カタログの定価から拾ってくるので、予算を多く取っておきたいといった発注担当課の思惑もあると思う。

(委員)

最低制限価格の導入は機能しているとみるべきなのか。

(事務局)

機能しているとみている。

(委員)

効果はあったということか。

(事務局)

財政面では高止まりであるが、業者からすると効果はあるのではないか。それぞれで見方が違う。

(2) 町立辰野総合病院整備事業

(事務局)

町立辰野総合病院整備事業公告案の説明。

(事務局)

何らかの形で地元業者が関われるようにしたい。

(事務局)

全体の流れとしては、参加資格の有無を決定した後入札に入る。

(委員)

部材の高騰が見込まれると思うが、どのように考えているか。また、補助金等活用するのか。

(事務局)

部材の高騰には慎重になっておりますが、かなりの高騰があるようであれば両者間の協議が必要になってくるのではないかとと思われる。

また、基本的には起債事業である。国が地方に造成した医療再生基金の活用が既に決まっている。

いずれにせよ、部材等の高騰は予算的にもかなり困る。

(委員)

事業を先延ばしにした方が良いのでは??との見解もあるが、耐震面に不安がある以上はやらなくてはならない事業ではある。

(委員)

震災復興がどのように影響してくるか読めない。

(事務局)

現時点では今の流れで実施していくと思う。

(3) その他

(事務局)

小規模工事の制度を出したところ、問合せ等が何件かあった。

(委員長)

この1年間いろいろな事があったような気もいたします。それも踏まえて来年度もまた不足な事態もあるかと思うが、良いものを作れるお手伝いできれば良いと思う。

4. 閉会

(事務局)

次回、5月下旬を予定。

第8回入札等審査員会終わり。